学校番号	3025

令和８年度　数学科

教科	数学科	科目	（学）数学 BCⅡ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	数学Ｂ（数研出版）、数学Ｃ（数研出版）、自主教材						
副教材等	新課程　教科書傍用　３トライアル　数学Ｂ（数研出版）、 新課程　教科書傍用　３トライアル　数学Ｃ（数研出版）、 ニューステージ数学ⅠＡⅡBC　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では常に問題意識を持つようにし、「なぜ？」を考える活動をしてください。
・授業用のノートだけでなく、問題集用のノートも用意してください。
・授業ノートについては、ただ板書を写すだけではなく、先生の話や、疑問点、気になったことなどを随時書き記していくようにしましょう。
・問題集用のノートについては、清書することなく、間違いの箇所を消さないで必ず残しておくこと。間違えた箇所に矢印等を施し、再度横で解いてみる「くせ」をつけるようにしましょう。
・説明を聞き、あるいは教科書の例題等を読んで理解した後、先生の指示を待つのではなく、他の人に説明するつもりになって、練習問題を解いていって下さい。その際、ただ、答えを書くのではなく、詳しい解答を書くよう、心がけて下さい。
・相手にわかりやすく説明するため、根拠や解決の筋道などを明確にするようにしてください。
・できるだけ項目ごとに該当する問題集の問題を解くようにしてください。まずは自分の力で解いてみて、分からない問題は解答を確認して解けるようにしましょう。解きっぱなしにするのではなく、問題集の解答をチェックして、間違えた問題はやり直しをするようにしましょう。さらに、一回やりきっても、２回、３回と問題を解きましょう。
・わからない点があれば、必ず質問し、分からないままにしないようにしましょう。

２　学習の到達目標

ベクトル（平面・空間）について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に着けることを目標とします。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ベクトルにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けているとともに、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、ベクトルにおける数学的な見方や考え方を身に付けている。	ベクトルに関心をもつとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	数学C 第2章空間のベクトル	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形 平面の方程式 直線の方程式	a: 成分表示されたベクトルの大きさ、和、差、実数倍の計算ができる。また、内積の計算も行うことができる。3点が一直線上にあるための条件を理解している。 座標空間の点と空間のベクトルの成分の関係について理解している。3点が同じ直線上や平面上にあるための必要十分条件を理解し、それを利用することができる。 b: 空間のベクトルを平面上のベクトルの拡張としてとらえることができる。成分表示されたベクトルを、3 つのベクトルの和、差に表現できる。空間の位置ベクトルを利用して、線分の長さや分点の座標などを考察できる。 c: 既知である平面の座標の概念を空間の座標に拡張しようとする。空間のベクトルと平面のベクトルを比較して考察しようとする。球面の方程式に興味を持ち、一般的な考察をしようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 課題	提出ﾉｰﾄ 課題

1学期・2学期	数学B　統計的な推測	母集団と標本 確率変数と確率分布 確率変数の平均と分散 確率変数の和と積 二項分布 正規分布 母集団の分布 標本平均の分布 母平均の推定 仮説検定の方法	a: 確率変数 aX+b の平均と分散，標準偏差を，確率変数 X におけるそれらの値との関係を理解して求めることができる。二項分布の特徴を理解し，二項分布に従う確率変数が条件を満たす確率を求めることができる。標準正規分布の性質や特徴について理解し，正規分布に従う確率変数が条件を満たす確率を求めることができる。標本平均が条件を満たす確率を，正規分布を利用して求めることができる。仮説検定の考え方や用語について理解し，棄却域について考察したり，母平均に関する主張について片側検定や両側検定をしたりすることができる。 b: 二項分布および正規分布の特徴に着目し，二項分布の正規分布による近似を利用して，二項分布で表される確率を考察することができる。母集団分布と標本分布の関係に着目して，標本平均の平均や標準偏差，標本平均の分布の特徴について考察を深めることができる。仮説検定の考え方を利用して，日常の事象に関する標本調査の方法や結果について批判的に考察し，問題を解決することができる。 c: 統計的な推測について学んだことを，日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 課題	 提出ﾉｰﾄ 課題

2学期・3学期		主に数学ⅡBC の範囲の問題演習	a: 様々な問題を解くことができる。 b: 明確な数学的根拠に基づき，解答を作成することができる。 c: 様々な問題に意欲的に取り組み，その数学的背景を考えようとする。	定期考査 確認ﾃｽﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 課題	 提出ﾉｰﾄ 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度